

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定員10名に対して十分に活動できるスペースになっています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			法令で必要とされる配置数に加え、指導員を1名以上配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			常勤・非常勤ともに、日々の振り返りと、定期的な会議を行なっています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今年度から実施しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			当法人ホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は法人内評価をとっております。第三者による外部評価はできておらず、今後必要に応じて検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			虐待防止研修、救急救命研修、感染症対策研修など行なっています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者からの聞き取りや個人記録に基づき、放課後等デイサービス計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			統一されたアセスメントシートを利用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間で情報共有しながら行なっています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			固定化した方が、毎回の見通しを持つことが出来る子もいることに、配慮しつつ、子どもたちが毎回楽しめるように工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は、スポーツ活動。土・日は、外出企画をしたり、夏休みには、プールを企画しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動を主としていますが、個々の状況に応じて個別活動も組み合わせながら計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前には日案を配布し、口頭での引き継ぎを行ない、支援内容の確認を行なっています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後は、その日の気づきや連絡事項を業務日誌に記入し、全員で情報を共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			モニタリング会議等の個々の支援内容の検証・改善につなげています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			月に1回以上職員に集まってもらい、会議を行なっています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			地域の団体との交流、余暇の提供(外出企画等)を行なっています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理者が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○	送迎時に、担任の先生とその日の様子などの引き継ぎを行なっています。さらなる情報共有のために連携の働きかけに努力していきます。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアが必要な子どもを受け止めるための人員の確保、環境の整備が難しいため、受け入れを行なっていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	情報共有をできるようにし、連携できるように準備はしていますが、情報を共有している他事業所は現在のところはありません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			大阪府が行なっている療育研修会に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	児童クラブや児童館などの障害のない子どもたちとの交流の機会は、今のところ行なっていません。今後必要に応じて検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			様々な研修やイベントには、可能な限り参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎の時に、本人の様子を聞いたり、その日の様子を伝えたりして、共通理解を図っています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者の悩みなどに寄り添えるよう努めてはいますが、トレーニングまでには至っておらず、対応を検討していきます。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に丁寧な説明を行なっています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者からの相談については、職員間で共有し考えています。送迎時等で解決できない内容は、電話での個別の対応を行なっています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在、保護者会等の活動は行なっていません。今後、要望があれば検討していきたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情受付担当者をおき、契約時に周知・説明しています。また、苦情があった場合には、迅速かつ適切に対応します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月に1度、会報を発行し、前月の様子や次月の予定をお知らせしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報の漏えいには細心の注意を払っています。資料等の持ち帰りは禁止しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的に分かり易いように、写真や絵を使って予定を伝えています。また、聴覚障害の方に対しては、手話ができる支援員が対応しています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		法人として取り組んでおり、地域交流にも積極的に参加しています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	緊急時対応マニュアル、感染症対策マニュアルは策定しているが、保護者に対する周知は行なっていません。また、防犯マニュアルについてはどういったものが必要なのか検討中です。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		施設での災害に対する訓練は行なっていますが、出かけた先での災害時の時の訓練等は行なえていません。今後検討していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		人権研修を行なっています。また、年1回セルフチェックリストも実施検証しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		実際には事例は発生していないが、やむを得ない場合が発生した際には、保護者には説明・了解を得た上で個別支援計画にも記載していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		家族からの聞き取りや医師の指示書に基づき対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		業務日誌に入れ、必ず職員全員が共有できるようにしています。